



株式会社 創翔の里 かぼすの丘 × Ryan インタビュー

子ども達のために成長を続ける児童福祉施設『かぼすの丘』で活躍中の、言語聴覚士さんに聞いてみました。

**Q これまでの職歴と
以前のお仕事について**

藤田さん…かぼすの丘に来る前は、医療機関で20年以上言語聴覚士として働いていました。医療機関では、主に成人の方を対象にリハビリなどの臨床を行っていました。准看護師と公認心理師の資格も持っているのですが、その分少し広い視点でお仕事をしていました。

Q 転職しようと思ったきっかけは？

和田さん…私は言語聴覚士となり3年目です。以前はクリニックの療育施設で働いていました。主に個別での療育を行っていました。

藤田さん…公認心理師の資格を取得する際に、発達障害や心理面を掘り下げて勉強したのがきっかけです。心理的な支援の必要性を感じ、新たな関わりを試みたいと思いました。お子様だけではなく、親御さんの心理的支援も大切なので、親子関係や様々な心のケアのお役に立ちたいと思いました。

Q こちらは、どんなお仕事をしていますか

藤田さん…言語聴覚士は、コミュニケーション障害、発達障害、聴覚、飲み込みの専門職です。お子さ

んの発達状況や能力、それぞれが抱えている問題の原因を探り、一人ひとりにあったプログラムを考えて訓練をしています。また、お母さんの不安を減らすためのアドバイスも行っています。

和田さん…集団活動や他の人の関わりの中で「おしゃべりが上手くできない」「発音が不明瞭」「話の内容が理解できていない」など、その要因を見ながら子どもと接し、個別の指導時間に苦手なところをトレーニング、得意なところは伸ばす療育をしています。言葉の発達の遅れに対しては、絵本やカードなどを見せながら言葉を引き出し、文字や音の習得ができるよう指導しています。

Q 病院勤務時との違いは？

藤田さん…送迎があるので、ご家族とお話することが多く、情報交換の量が多いです。ご家庭とかぼすの丘での様子の違いや、日常生活が見えやすいので、支援がやりやすいと感じます。

Q 言語聴覚士としてのやりがいはどこですか？

藤田さん…子供たちの成長を常に感じられることが嬉しいです。心の成長、思いやりの心、他者との関わりの変化、人間性、社会性の広がり、お家での様子に変化があったと聞いた時など、役

に立てて良かったと感じます。食育として子どもたちとお買い物やクッキングも楽しく、幅広い視点で関わりができることにやりがいを感じます。

和田さん…この前までできなかったことができるようになった」「イライラを自分で我慢できた」「生懸命におしゃべりしてくれて上手に話せた」など、子どもたちの成長はすごいなとも感じています。かぼすの丘では1歳の幼児から就労まで長い時間を一緒に過ごせるので、成長段階で起こる様々な困りごとでも上手く人に頼れるように、一緒に成長しながら支援ができれば嬉しく思います。

Q これからもっとやってみたい事は？

藤田さん…かぼすの丘は、子どもたちにとって良いことはほとんど提案し合い、取り入れてやっていこうという姿勢があります。その為、意見が出しやすく計画が立てやすいです。皆が言語聴覚士にも興味を持ってくれて、様々



な取り組みを行ってくれます。これからは言語聴覚士としてだけではなく、もっと幅広い視点で活動内容を考えたいと思います。

株式会社 創翔の里 かぼすの丘

本社・別府市荘園9組1

0120-392-543

電話受付時間10時~17時

(土日祝日を除く)



株式会社創翔の里 (ホームページ)



言語聴覚士 和田萌華さん

言語聴覚士 藤田康代さん

